

生徒指導からの話(会礼)

いじめと槍

はじめに、みなさんに伝えておきたいことがあります。

それは、先生はこの芳川小学校からいじめをなくしたいということです。いいですか？大切なことなので、もう一度言います。いじめをなくしたい。

では、今回はどうすればいじめがなくなるのか？みなさんと考えていきたいと思います。

まず、いじめというものは、相手の心に痛みを与えます。それは、槍のような鋭いものです。

ここに、実際に心に槍が刺さったものを見せます。この槍は、暴力、暴言、無視、仲間外れ、ものをかくす、からかいなど、いろいろな種類があります。槍が刺さった心はどうなるでしょう？傷が大きくなったり、割れてしまったり、痛みを感じながら生活することになります。槍というものは、一度刺さってしまうとなかなか抜けません。抜こうと思っても、それも痛みが伴います。では、仮に抜けたとするとそのあとは、どうなるのでしょうか？

見てください。穴は、閉じることがないのです。一度でもいじめを経験すると、心に傷を残しながら生活していくことになるのです。いじめられた側はいくら明るくしていても、記憶という傷を残します。忘れません。

では、ここでみなさん質問です。

放送委員会の子が、給食の時間に出しているクイズです。分かって、口には出さないようにしましょう。

「槍は槍でも、相手に投げてもいい槍ってなんだ？」※考える時間を与える

分かった人は手を挙げましょう。※指名をする

そうですね。思いやりです。これが、先生が考えるいじめをなくす一つの方法です。思いやりは、いくら相手に投げて気持ちのいいものです。いじめの槍とは違います。もしかすると、心を痛めていたお友達の傷をふさいでくれることもあるかもしれません。

思いやりとは、国語や算数のように、テストで100点を目指すものではありません。1点でも、50点でも、もちろん100点でも、自分のできることをやればいいのです。計算が速い、足が速いといったように目に見えるものではありません。

だれでも今からできる。それが思いやりです。相手を思いやることができれば、いじめはなくなるでしょう。そして、今まさに、先生はみなさんからたくさんの思いやりをもらっています。静かに顔を挙げて真剣に話を聞いてくれている。それだけでも、みなさんの思いやりを感じることができます。ありがとうございます。

しかし、みなさんは、人との関わり合いを今まさに、練習している最中です。失敗することもあるでしょう。相手を傷つけてしまうこともあるでしょう。それは、みなさんがまだまだ子供だからです。だからこそ、私たち、大人が学校にはいるのです。周りをみましょう。担任の先生、学年の先生、保健の先生、勉強を教えてくれる先生など、たくさんの頼りになる大人がいます。それは、学校だけではなく、家族、地域の方も同じです。悩みがあれば、どんなことでもいいです。話をしてください。

今日、話したことをおさらいします。

いじめの槍は心を傷つけます。そして、心に痕を残ります。

思いやりはたくさん投げましょう。

困ったことがあれば、大人に相談しましょう。

今日、今から、思いやりはできます。だれでもできます。100点を目指さなくてもいいです。たくさんの思いやりで、温かな芳川小学校を皆さんで創り上げていきましょう。そのサポートを、先生はしていきます。

これで、お話を終わります。